

優秀賞

安心できる移動

小郡市立宝城中学校 1年 野口 晃陽

「免許更新ができたよ。」

祖母の家に行った時に祖母がうれしそうに報告した。僕も母もすごいよ、良かったねと言ってお祝いをした。

そして帰ってきて、テレビや新聞を見ていると高齢者がアクセルとブレーキをまちがえてしまい、病院に衝突したという悲しいニュースを聞いた。その時僕は高齢者は判断力が無くなってきて事故を起こしやすいから車に乗らない方が良さだろと思うってしまった。でも、その後祖母の事を考えると腰が悪くても自動車が無いと交通が発達した都会はいいが田舎で近くにお店やスーパーがない人はとても大変で生きていけないなと思って、そんな考えは良くないなと反省した。しかも車で走る事が喜びの人もいて、無かったら悲しむ人もたくさんいると思った。自動車はとても便利でいい物だけど、一歩間違えれば交通事故になるこわい物だなという事を感じた。そこで僕は安全かつ便利な物は無いかと考えた。すると、前に障害物があったら、自動でブレーキをする機能やアラウンドビューモニターという機能がある自動車を知った。そんな機能のついた自動車は高齢者だけでなく、いろいろな人が使った方がいいと思う。それは、その人が歳をとっていても、とってなくてもだれでも事故を起こしてしまう事があるからだ。例えばその人がつかれていたり、寝不足だったりすると若くても事故を起こす危険性は高くなる。他にも車道と歩道の境目をはっきりさせ万一步道に向かって車がいても歩行者がけがをしないようしっかりと固いガードレールをつけるとより安全になる。ちなみに僕がニュースで見た事故は、車止めが無かったそうだ。だから車止めも絶対付けるようにし、そうすれば建物に衝突する事も少なくなると思う。

だから僕は、交通事故がなくなるために、前に障害物があったら自動でブレーキをする機能やアラウンドビューモニターという機能をできるだけ多くの自動車につける。車道と歩道の境目をはっきりさせ、ガードレールをより強く固い物にし、道路の整備をする。車止めを付けるように呼びかける。この中で自分にできる事を祖母にも伝え、交通事故がないようにしたい。